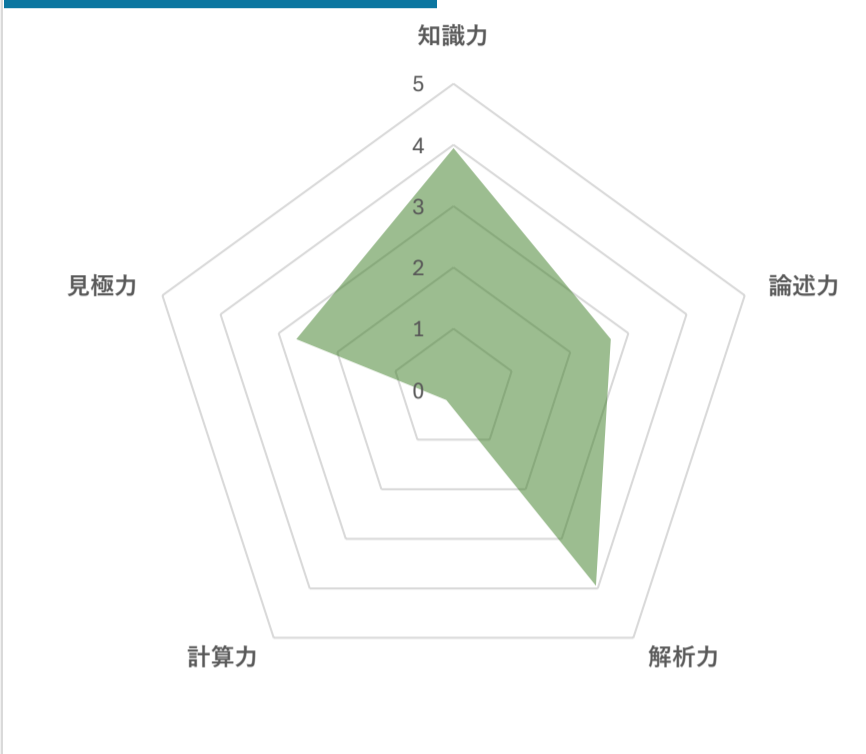


総合分析

試験区分 一般 (前期)

制限時間 60分 (理科 2 科120分) 大問数 全 4 問

合格に要する能力 (5段階)



出題分野

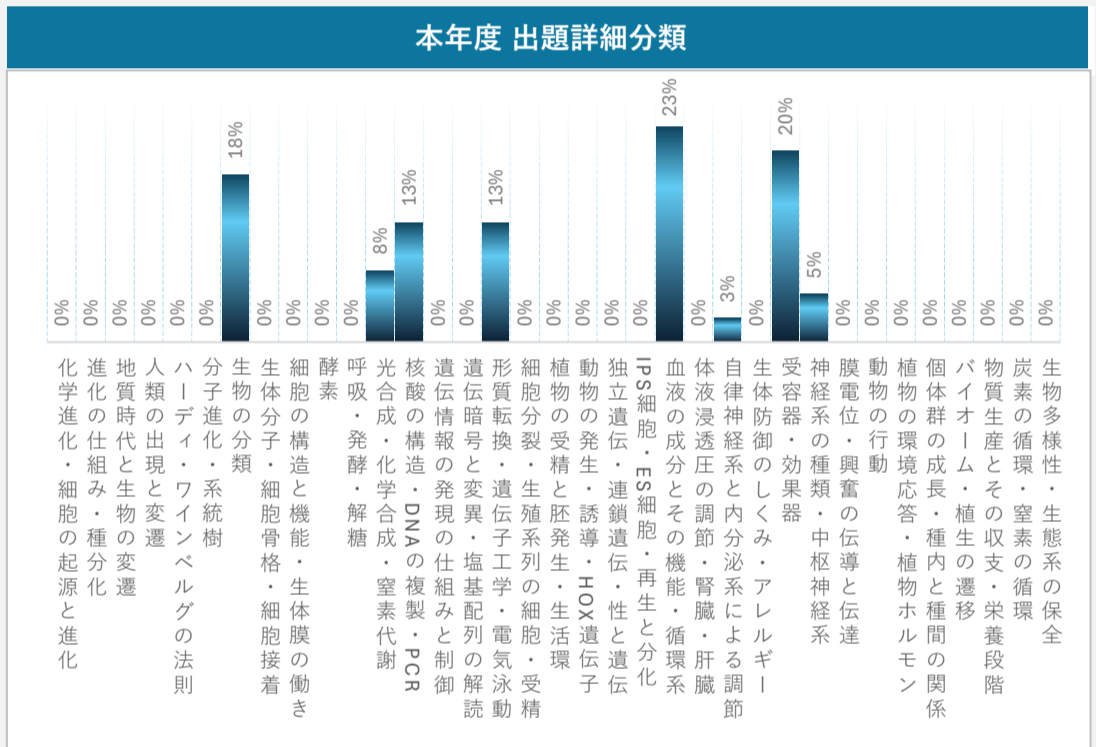
系統と進化	18%
生命現象と物質	8%
遺伝子	25%
生殖と発生	0%
生物の環境応答	50%
生態	0%

本年度 解答形式

論述	75%
穴埋...	

本年度出題テーマ一覧

第 1 問	RT-PCR, 逆転写酵素
第 2 問	受容器, 眼の構造と機能
第 3 問	心臓の構造, 心拍の特徴
第 4 問	藻類の進化と光合成色素



合格に要する能力 (5段階)

能力	スコア	説明
知識力	3.8	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	2.5	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.8	図表データなどから分析・解析する力
計算力	0.0	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	2.5	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無

数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	--------	---------	---------	--------

特記事項 特になし

総合評価

難度	2.7	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	61%
分量	60分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準	標準	

入試の特徴と対策

標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。

入試から見る 大学が求める学生像

例年に比べるとやや難化している。データを解釈する問題が多く出題されるが、前提となる背景知識があると解きやすくなる問題が散見される。要求される知識問題にもややマニアックなものが含まれるため、十分な知識を蓄えた学生が求められているといえる。